

9月議会 議案の中から

① 議案第8号 平成27年度一般会計補正予算

- 財産の取得等に要する経費 406万円
- 旧学校給食センター管理に要する経費 400万円
- 【財源内訳】 鎌ケ谷市の負担 計 806万円

第二学校給食センター及びトレーニングセンターの跡地活用のため、建物の解体工事設計や不動産鑑定、用地測量等するため計上するもの。



松沢の主張

公有財産である給食センターの土地・建物において、現状、利活用の具体的な方策・方針は決まっていない。しかし、公有財産の評価や解体工事設計委託をすることで、費用の算出ができ、具体的な方策や方針を決めることができる。道路沿いで売却可能な公有財産だからこそ、行政経営的視点に立ち、一般財源の持ち出しが少なくなるよう、プロポーザル方式の土地活用計画等、民間の企画力に頼ることも必要と考える。

- 戸籍住民基本台帳事務に要する経費 約 6234万円
 - 【財源内訳】 国庫支出金 4127万円
 - 鎌ケ谷市の負担 2107万円
- マイナンバーカードの交付事務に備えるため、必要経費を計上するもの。

「個人情報外部に漏れいするのではないか」「マイナンバーを不正利用されないか」「国が個人情報を一元管理するのか」といった心配の声を聞く。これらの心配の解消に努めるためにも制度面やシステム面において、保護・安全措置に留意しつつ、総合窓口や相談窓口の充実、効率的な行政サービスの実現を目指すべきである。

② 議案第13号 平成26年度鎌ケ谷市一般会計歳入歳出決算の認定について

- 決算審査特別委員会における松沢の主な質疑
- ゴルフ場利用税交付金 3280万円

Q 概要について

A 鎌ケ谷カントリークラブの利用者が1人1日につき1200円を県民税として課税され、そのうち7割が鎌ケ谷市に交付される。

Q 利用税の基準について

A 標準の税額は800円。ゴルフ場ごとの利用料金やホール数、設備により点数化され、千葉県の場合は1級から12級があり、鎌ケ谷カントリークラブは1級のため1200円。

鎌ケ谷カントリークラブでプレーしたら、鎌ケ谷市に1人当たり840円が交付される。是非、鎌ケ谷カントリークラブにてゴルフを楽しんでください。

- 病後児保育に要する経費 約 722万円

Q 利用者数と登録者数について

A 利用者数は鎌ケ谷市13名、白井市7名。登録者数は平成27年8月1日付けで鎌ケ谷市364名、白井市126名。

Q 病後児保育と病児保育の違いについて

A 病後児は病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間、一時的に預かるもので、病気の治療が必要ない状況である。病児は現に病氣中で治療をまだ要する期間であるが保育する状況である。

病児保育を実施しているのは船橋市、習志野市、我孫子市、野田市であり、女性の活躍推進や少子化対策の重要性が増していく今後、実施していない鎌ケ谷市においても早急に検討すべき課題と考える。

松沢たけひとの活動



7月31日

関東若手市議会議員の会にて栃木県大田原市へ公共施設等複合用途の再開発ビルの整備を視察。1階は商業テナント、2階はこども未来館、3階に市民交流センター、4階に図書館、5~7階が分譲マンション。

集中セミナー： 逆風下の地方創生

第1部 基調講演 「ビッグデータと地方創生」
小泉 進次郎・内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官
第2部 パネル討論 「活路はどこに〜総合戦略を考えよう」

8月24日

日本経済研究センター集中セミナー「ビッグデータと地方創生」と題し、小泉進次郎衆議院議員が講演。国が自治体向けに提供している「地域経済分析システム (RESAS, リーサス)」によるビッグデータ活用の重要性を説明。



10月11日

鎌ケ谷青年会議所は鎌ケ谷市民まつりの KAMA-1 グランプリに協力しており、メンバーの一人として運営に協力。今年は管での投票でなく、本物の選挙のように投票用紙に記入し、投票する方式を採用。



10月17日

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県亶理町へ再訪問。荒浜地区は津波で壊滅状態になり、荒浜小学校校舎の1階部分並びに体育館が使用不可になっていたが、平成26年度に復旧工事が完了し再開している。

松沢たけひと 市政報告会のご案内

11月15日(日)

14:00 ~ 15:00

会場：松沢たけひと みんなの会事務所
(鎌ケ谷市東中沢 2-19-88)

問い合わせ先：TEL 047-445-5260

※入退場自由ですので、どなたでも気軽にご参加ください。



松沢たけひと プロフィール



- 昭和50年 鎌ケ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 鎌ケ谷市立中部小学校卒業
- 平成2年 鎌ケ谷市立第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成10年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人 設立 代表取締役
- 平成19年 鎌ケ谷市議会議員 初当選
- 平成23年 鎌ケ谷市議会議員 再選 (2期目)
- 平成23年 都市・市民生活常任委員会 委員長
- 平成24年 千葉県指定伝統的工芸品に認定
- 平成27年 鎌ケ谷市議会議員 再選 (3期目)

私、松沢たけひとは40歳と会派政友会の中では最年少ではありますが、鎌ケ谷市議会議員の一人として、市民の皆様信頼され、そして、期待に応えられるよう行動してまいります。

小規模事業者は地域の経済や雇用を支える上で極めて重要な存在であるが、人口減少、高齢化、海外との競争の激化といった経済の構造的変化に直面している。また、地域経済が低迷している状況から、さらなる小規模事業者に焦点を当てた施策が求められている。

Q 鎌ケ谷市の商工業振興策について

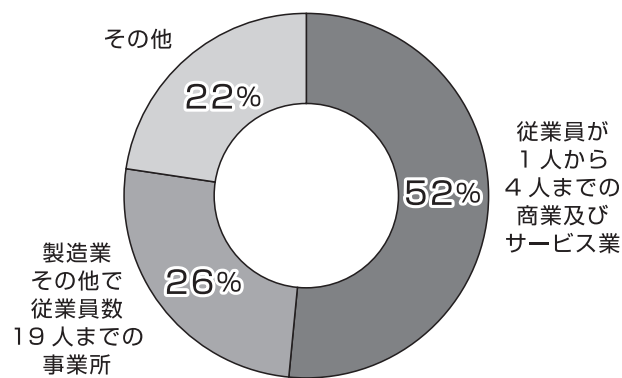
A 中小企業への融資に対する利子補給制度や商工会や商店会等への補助金制度を実施している。また、地域課題をビジネス手法により解決するコミュニティビジネス事業や新製品や新技術を開発するベンチャービジネス事業への支援により、新事業展開の促進を図っている。このほか、ふるさと産品など本市の特産品を活用した商品開発とそのPR事業の実施や、今年度は国からの交付金により空き店舗活用事業や創業事業者支援事業などを行っている。

Q 鎌ケ谷市の産業の構造について

	平成 21 年度	平成 24 年度
事業者数	3,086	2,988
従業員数	24,909	25,204

平成 21・24 年経済センサスより

本市の小規模企業割合



平成 24 年経済センサスより

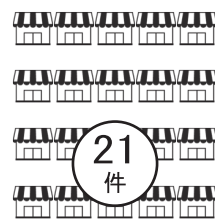
Q 空き店舗活用事業の進捗状況について

A 商店街のにぎわいの創出のため、昨年度国から交付のあった地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用して、今年度店舗改装費用の一部を補助する空き店舗活用事業を実施している。事業の実施に当たり、市内の商店会や不動産会社などに周知を図ったところ、これまでに 10 件の相談があり、そのうち 5 件は既に申請書が提出され、審査の上、補助金の決定をしている。また、残りの部分は、事業者が申請をするかどうかについて検討をしている状況。なお、これまで補助金の決定をした業種は、飲食、サービス業が 3 件、小売業が 1 件、美容業が 1 件。

Q 現在の鎌ケ谷市の空き店舗の状況について

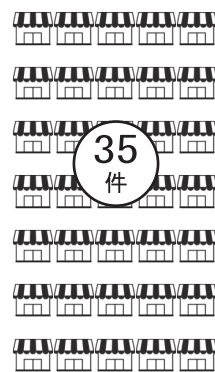
A 千葉県では県内の空き店舗数を把握するため、30 人以上の会員を有する商店会を対象とした空き店舗数の調査を平成 18 年度より実施しており、鎌ケ谷市中央商店会と大仏商店会の 2 つの商店会の 180 件が調査対象。

【平成 25 年】



7.7% 増加

【平成 26 年】



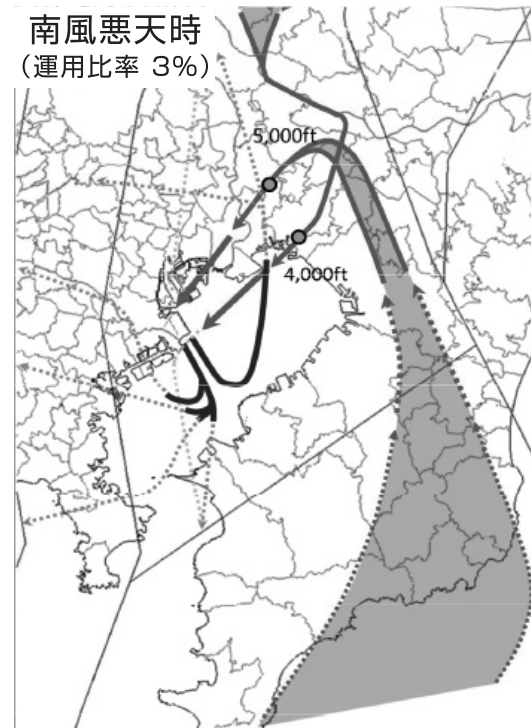
松沢の主張

商店街のシャッター街化は通りが暗くなり、人通りも減るなど地域の防犯力の低下につながる。また、地域のお店がなくなることで、車や自転車などの移動手段を持たない高齢者の「買い物難民化」も表面化する。今年度、国の交付金で実施できた空き店舗活用事業だが、後年度も実施できる仕組みを構築すべきである。

羽田空港が平成 22 年 10 月に 4 本目の D 滑走路の運用を開始して以来、鎌ケ谷市付近の上空において、旅客機の飛行とジェットエンジンの音が確認されるようになった。今後も発着回数が増加されると予測される中で、騒音等の把握や情報提供が必要となるのではないか。

Q 鎌ケ谷市上空の民間航空機の飛行状況の把握について

A 本市の影響のある飛行ルートは、南風悪天時における着陸機によるものであり、飛行ルートは千葉市を北上して八千代市を通過し、柏市で旋回して松戸市、市川市を通過して羽田空港に着陸しており、本市上空を通過していないが、本市北西部地域をかすめて着陸する飛行ルートとなっている。



Q 今後の羽田空港について

A 羽田空港の今後については首都圏の国際競争力の強化や訪日外国人への対応などのため、また 2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることに伴い、2020 年をめどに発着回数のさらなる増加を検討している。現在国土交通省東京航空局では、その必要性や実現方策についてできる限り多くの方々に

知っていただくとともに、住民の方々のご意見を伺いながら環境影響に配慮した方策を検討していくとのこと。

Q 羽田空港を発着する民間航空機の騒音の要因は

A 民間航空機が南風悪天時の着陸ルートとして本市上空付近を飛行していることが騒音の要因と考えられる。また、本市上空付近を通過する南風悪天時の想定運用比率は、羽田空港の着陸飛行ルート全体の運用率の約 3%と設定されている。なお、平成 26 年度の年間実績は着陸飛行全体の約 20 万 6,000 回に対し、南風悪天時の飛行ルートは約 8,600 回使用しており、約 4%となっている。

Q 関係機関の対応について

A 本市は千葉県が中心となって進めている羽田空港発着機の飛行ルート下にある県下 25 市町で構成する羽田再拡張事業に関する県・市町村連絡協議会の構成員となっており、騒音や飛行ルート等の諸課題を解決するため、国土交通省東京航空局と年 2 回の定期協議が継続的に行われている。本市も会議に出席するなどして市民の皆様から寄せられた苦情内容等の報告をしている。

松沢の主張

鎌ケ谷市付近の上空を通過する旅客機は年間約 8600 回で、3% の予測のところ 4% となっている。南風悪天時の着陸飛行ルートに本市上空付近が含まれていることの周知や羽田空港の担当である国土交通省東京航空局の問い合わせ先等の情報提供を実施するべきと考える。

編集後記

平成 19 年に初当選以来、9 年連続で決算審査特別委員として出席しました。厳しい財政状況を脱し、安定した財政状況を迎えている今こそ、翌年度の予算編成につなげる決算審査の重要性や行政評価の取組を認識し、税金の使い道について、関心をもってもらえるよう議会活動に取り組んでまいります。